IMAGINE ROTARY

NAGASAKI DEJIMA ROTARY CLUB

2022-23年度国際ロータリー会長　ジェニファーE・ジョーンズ

WEEKLY
NO.1078
2/10 金
発 行

本日のプログラム　2 月10日（金）	次回のプログラム　2 月17日（金）
新会員卓話：寺岡誠三さん	卓話：みずほ証券(株)長崎支店　支店長　田中宏明さん 「上場を目指すメリット・デメリット」

第1084回 例会

今年度 第25回例会　令和5年2月3日(金)
会員数73名(出席免除1名)　欠席19名　出席率 73.6％

■欠席者：神保、牧、安達、鉄川、手塚、原、平井、押渕、西村、堤、光安、庄司、吉村、今村、熊上、村木、福島、小西、西沢
■来訪者（敬称略）：諫早北ＲＣ　光石 尚彦

ロータリー財団寄付表彰

■ロータリー財団寄付表彰：山田さん

ロータリー財団に6,756.80ドル（日本円100万円）を寄付し、メジャードナー（大口寄付者）となりました。認証バッジ、ピン、ペンダントトップが授与されます。

■開会・点鐘：前田会長

■国歌斉唱

■ロータリーソング：「奉仕の理想」

■四つのテスト：藤さん

■ビジター紹介および会長挨拶：前田会長

みなさんこんにちは。２月に入りました。

現在「長崎ランタンフェスティバル」が開催中であります。今日はこの長崎ランタンフェスティバルについてお話ししたいと思います。この祭りがいつ始まったものか全く知らなかったのですが、それもそのはずで、1986年（昭和61年）ちょうど私が大学を卒業して長崎を離れた年に新地中華街の４つの入口に中華風の門、牌楼（パイロウ）が建設されたことを契機に、新地にあります長崎新地中華街商店街振興組合により春節と元宵節を組み合わせた「灯籠祭」を行う計画が持ち上がり、翌1987年（昭和62年）の春節から毎年開催されるようになったとのこと。そして観光客からの反応が非常に好評だったことから、1994年（平成５年）に長崎市の正式な観光の柱のひとつに位置づけられ、「長崎ランタンフェスティバル」と改められたそうです。

ちなみにこのイベントは長崎北RCパスト会長である会楽園の林敏行さんを中心として苦労して作ってこられたもので、オブジェを中国、そして台湾に買い付けに入った話などお聞きしたことがあります。ちなみに林さんは観光庁から「『長崎ランタンフェスティバル』を仕掛け、今日の成功に導いたイベントのカリスマ」として表彰されています。その後、祭の規模は年々増加、会場も増えていき、2018年（平成30年）には、現在放映中のNHKの朝ドラにも出演されている長濱ねるさんが皇帝パレードに参加、期間中に過去最高の106万人の来場を記録したとのこと。その後コロナとなり３年中止しておりましたが今年は３年振りの開催となりました。ステージイベントの自粛等、色々と以前の内容とは変えざるを得ず、大変そうですが応援してまいりましょう。それでは本日も楽しい例会にしましょう。
本日もよろしくお願いいたします。

■米山記念奨学生近況報告：レン君

みんなさん、こんにちは。
それでは近況報告を始めさせていただきます。
1月はすごく忙しい1ヶ月でした。24日に研究概要提出と31日には最終発表がありました。研究概要は無事提出できました。最終発表の時は、すごく緊張しましたが、合格をもらいました。12月に受けた日本語能力試験も合格しました。
ロータリーの皆さんと新年会で色々話したことも、楽しかったです。後は、最後の1ヶ月を皆さんと楽しく過ごしたいと思います。
今月の21～23日までモンゴルでは旧正月です。家族がみんな集まって民族料理を食べます。家族で両親の兄弟姉妹の家に訪問することもあります。訪問するとき挨拶としてお金を年寄りの方にあげます。帰る頃プレゼントもらって帰ります。

■幹事報告：亀川幹事

①理事会報告：
②確定申告用領収書配布について：BOXに配布しておりますので、ご確認下さい。原則再発行はされませんので、確

定申告まで大切に保管してください。

③新会員歓迎会出欠返信のお願い：3/1（水）18：30京華園にて開催されます。出欠返信は2/3本日までとなっておりますので、未返信の方は至急返信下さい。

■委員会報告：出席・記録保存委員会　田村さん

2月出席率100％月間について

■親睦委員会報告　ニコニコ披露：相田さん

ニコニコ9件　27,000円（累計　609,000円）

■前田さん：昨日2月2日は私の59回目の誕生日でした。自宅で妻と2人で食事をし、妻の手作りケーキでお祝いしてもらいました。ところで、今日発行の週報は見られましたでしょうか？最後のページの亀川幹事 素晴らしい笑顔の写真の横に「長崎出島ロータリークラブ、楽しくてしょうがないです！」とキャプションが入れられてます。ありがとうございます。

・・

■佐伯さん：今月で65歳になります。世間的には立派な高齢者ですが、要は本人の気持ちの持ちようだと思って、まだ頑張ります。「迷わず行けよ、行けばわかるさ」！

・・

■塚本さん：先日の新年会、お世話になりました。ダブルペリアでなく、くじを引く強さで現金をgetさせて頂きました。くじを引いた前田会長ありがとうございました。

・・

■池田さん：今日は節分ですね。父親が大きな掛け声とともに庭や部屋中に大量の豆をまき散らし、私たちはその後ろをなぜかしゃもじを鳴らし「もっともだ～」と言いながらついて歩いていました。子供の頃の楽しい記憶ですが、どんなにか掃除が大変だったろうかと思い返しています。

・・

■武藤さん：本日節分です。年男なので、ニコニコします。山崎委員長、オニ役頑張って下さい！

・・

■柿山さん：今日は節分ですね。恵方巻を食べすぎないように気を付けてください。2月最初の例会なので、ニコニコをします。ただそれだけです。

・・

■寺岡さん：本日誕生日でした。産み育ててくれた両親に感謝する一日としたいと思います。

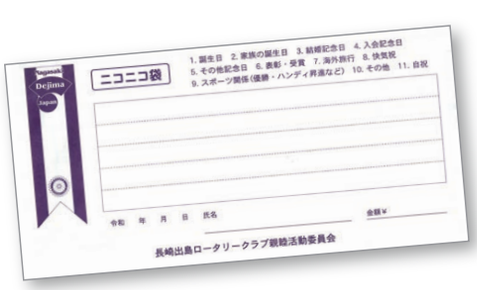
・・

■田村さん：今月は2月出席率100%月間となっております。皆様の御協力宜しくお願い致します。1月は次女、2月は長女の誕生日です。

・・

■相田さん：昨年1/27に脳出血になり、2週間ほど入院しました。おかげさまで1年経ち、健康でいられる事に感謝しています。健康第一に感謝してニコニコします。

・・



■卓話：藤岡さん
「これからの石油とエネルギー環境について」

1．燃料油価格激変緩和措置について

2020 年から始まったコロナ禍からの世界経済の回復に伴う原油需要増と、一部産油国の生産停滞からの原油価格の上昇基調。

2020 年 04 月コロナ禍の始まりにドバイ原油＄23.2/B（バレル＝159 リットル）。これはコロナショックによる原油価格の下落に加えて、日本国内の緊急事態宣言や、海外で相次ぐロックダウンによる外出禁止措置や防疫措置による多国間の移動制限にともない、世界的に消費が減少したことも影響されたと考えられています。

そこからじわじわと需要が戻り、約 1 年半後の、2021 年 12 月には＄72.7/B まで戻した。

2022 年 02 月のロシアウクライナ侵攻により、原油価格が高騰し、ドバイ原油は＄130/B 超え（実に 2020 年 4 月比の 5.5 倍）

それを受けて、国内のレギュラーガソリン小売価格は 171.9 円（2022.02　7 年ぶりの 170 円超え）この時に初めて 3.4 円 /L が石油元売りに支給される。→これが燃料油価格激変緩和措置のスタート。

この事業は『レギュラーガソリンの全国平均価格が 170 円 /L になった場合、5 円を上限として石油元売りに補助金を支給する』というもの。卸価格の上昇を抑制することで、結果として小売価格の上昇を抑制する価格上昇の緩和が目的で、小売価格に直接補助金が出るものではないので、私たち販売業者は全く補助金を受けていません。

当初は一部マスコミが「ガソリン価格が 5 円値下がりする」といった誤解を招く報道もなされ、うちのお店にも「安くなるんでしょう？」みたいなお問い合わせが多く寄せられました。

それでも上昇は止まらず､2022 年 3 月に制度拡充がなされて、補助額が当初の 5 円から 25 円に増額。しかし状況は全く変わらず、2022 年 3 月末に末端価格は一気に 190 円 /L まで上昇。

3 月 26 日より、補助額が 25 円から 35 円に増額、35 円を超える場合は 50 円まで 1/4 補助～ 9 月迄。基準価格を 168 円とする。上半期で戦況は収まらず、同制度を 12 月末まで延長、1 月以降も延長されたが、「補助上限を緩やかに調整しつつ実施」となりました。補助額は 7 月がピークで実に 41.9 円 /L が毎日。その時のレギュラーガソリンは店頭価格の平均で 174.9 円だったので、実際の価格は 216 円でした。

この「燃料油価格激変緩和措置事業」にどのくらいのお金が注入されたかといいますと、

2022 年 1-3 月：4400 億円、

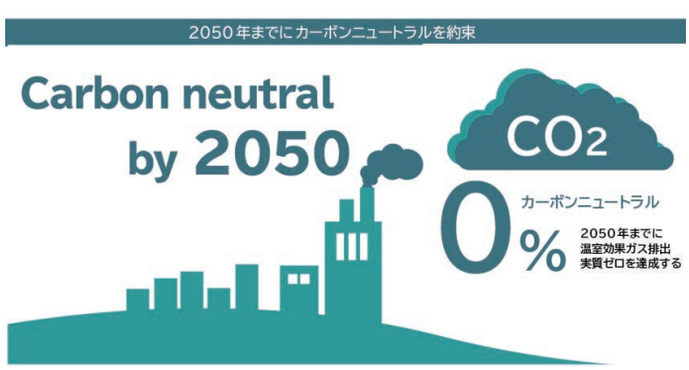
2022 年 4-12 月：2 兆 7400 億円、

2023 年 1 月 -：3 兆 270 億円、合計 6 兆 2 千億円です。

先日防衛費が 6 兆円を超えたと大騒ぎしていましたが、まさに同様のお金が燃料油の補助金で出ていたということです。

エネルギー価格は全ての産業に影響を及ぼすので、このような形で補助金がでているわけですが、石油組合でもわれわれの業界は本当に恵まれていると話しています。

2．カーボンニュートラルと S+3E について



2020 年 10 月、菅元総理による「2050 年カーボンニュートラル宣言」。

2021 年 01 月、「2035 年新車販売で電動車 100％実現」。

これには石油業界が動揺しました。いま日本の石油需要は年率 2.5％づつ減少している状況です。2040 年には需要は半減するとの予測もあります。

世界が目指す「カーボンニュートラル」。これは、CO_2をはじめとする温室効果ガスを出来る限り低減し、排出せざるを得なかった分については、同じ量を吸収、除去することで、全体として差し引きゼロを目指す取り組みです。日本では2050年までに2013年度比46％削減を目標としています。

カーボンニュートラルの象徴的存在は、EV（電気自動車）です。

九州７県の電気自動車保有台数と比率2009年４月（14年前）、電気自動車は九州に84台、長崎県に５台。日本では469台。総自動車数からのシェアは0.002％2022年２月（13年後）、九州に17,896台（213倍）、長崎県は1,391台（278倍）この時のシェアは0.7％（シェアは13年間で340倍）

ちなみにハイブリッドカーは2009年に1.3％が、2022年に46.6％実に国内を走っている総自動車数の半分がHEVかEVとなる。この比率は今後更に高まります。

自動車メーカーもEVやHEVにシフト。日産と三菱は完全にEV特化、トヨタとホンダとスズキとダイハツはどちらかというとHEV志向、しかしトヨタ自動車はいすゞ自動車は２０２３年３月をめどに電気自動車（ＥＶ）小型トラックを市場投入するといいます。将来は電池容量を複数用意し、顧客が目的に合わせて柔軟に選べるようにする。同社がＥＶトラックを発売するのは初めて。国内では三菱ふそうトラック・バス、日野自動車が小型ＥＶトラックを発売済み。商用車トップシェアのいすゞが参入することで普及が加速すると思われます。

石油販売業界にとっては実にアゲンストです。

ガソリンスタンドは97％が１SSのオーナーです。需要減少、コストコSSやJASSなどの大手安売り店による利幅圧迫、土壌汚染対策の地下タンクの塗り直しや、後継者不足などで、1994年に６万か所あったガソリンスタンドは、直近で２万

日本のエネルギー政策は「S+３E」で進めるべきかと考えます。

SAFETY（安全性）。

ENERGY SECRITY（安定供給）。

ENVIROMENT（環境適合）。

ECONOMIC EFFICIENCY（経済効率性）。

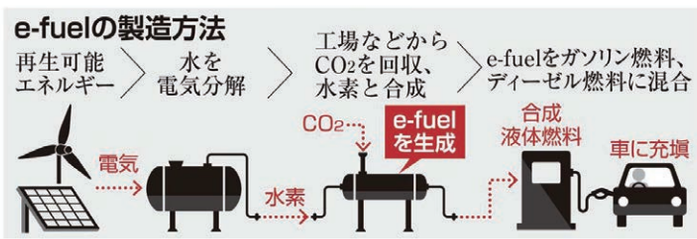
資源の乏しい日本では「S+３E」の観点から多様なエネルギーを組み合わせることが必要です。震災以降、原子力の停止が長期化し、火力への過度な依存が続いていますが、原子力も含めて多様な選択肢を確保し、火力・原子力・再生可能エネルギーのバランスの取れたエネルギーミックスを再構築する必要があります。

いま電気代が無茶苦茶上がっています。電源が偏った「S+３E」なきカーボンニュートラル政策を続けていけば、いずれ無理がくるものと考えます。

災害時には液体燃料の有用性が明らかになります。石油は分散型の液体燃料であり、可搬性や貯蔵の優位性があり、災害直後から被災地への燃料供給に対応できるという利点があるため、ガソリンスタンドは災害時のエネルギー供給の最後の砦として、自家発電機を稼働しての給油継続や、移動電源車や病院などへの燃料配送をはたしています。

ガソリンは災害時の燃料として必要なものです。東日本大震災の被災者の方々が必要だったものベスト３が、水、ガソリン、灯油だったそうです。

3. E-FUELについて



いま石油業界全体で必死に開発を進めているのが、E-FUELという合成燃料です。e-fuelとは、CO2と水素を用いた合成燃料で、ガソリンや軽油などの代わりとして期待されている脱炭素燃料です。これを燃やしてもCO2の排出はなく、従来の自動車でも使用可能で、現状のガソリンスタンドのインフラをそのまま使うことができます。

自動車業界ではすでに乗用車のEV化が進んでいるのは申し上げた通りです。しかしEVには、航続距離や充電時間、積載量、インフラ整備などの課題があり、特にトラックなどの商用車の電動化は簡単ではありません。したがって、合成燃料などの代替燃料の利用が期待されています。

E-FUELは技術的には確立されていますが、課題はコストです。現在の技術だと、合成燃料は800円/Lだそうです。今後いかにコストを削減して200円/Lくらいまでもっていけるかが課題です。エネオスの社長は2034年くらいの商用化を目指したいと言っています。これは日本のガソリンスタンド業界の悲願でもあります。

■閉会・点鐘：前田会長

令和５年２月４日（土）佐賀アバンセにてインターアクト後期指導者研修会が開催され、光安委員長および活水高等学校インターアクトクラブ顧問の鈴田先生が参加されました。

福岡東ロータリークラブの田村志朗様より『インターアクトは世界を救う』との題名で子どもの貧困とインターアクトの関わり方について講演がありました。
その後、唐津ロータリークラブの徳川清隆様より『RYLA 委員会の取り組みの紹介』との題名で講演があり、RYLA の歴史、RYLA で出来ることなどの内容で講演されました。
最後に、３年振りに佐世保西ロータリークラブをホストとする、RYLA セミナーが６月 10～11 日まで開催するとの案内がありました。

２月 19 日（日）IM（インターシティミーティング）のお知らせ

Rotary

2022～2023年度
国際ロータリー第2740地区　第9・10グループ

インターシティーミーティング(IM)

開催日：令和５年２月19日（日）

第１部　式典・文化シンポジウム　　場所：出島メッセ長崎

13：30　受付開始
14：00　開　会
　　式　典
14：55　文化シンポジウム
　　テーマ「長崎を語る」
　　シンポジスト：木村　直樹 氏　塚田　恵子 氏
　　コーディネーター：赤瀬　浩 氏
16：45　閉　会
～ 懇親会場「ホテルニュー長崎」へ移動 ～

第２部　懇　親　会　　場所：ホテルニュー長崎

17：20　開　会
　　懇親会
19：00　閉　会

ホストクラブ　長崎南ロータリークラブ
コ・ホストクラブ　長崎東ロータリークラブ

シンポジスト

木村（きむら）　直樹（なおき） 氏

シンポジスト

塚田（つかだ）　恵子（けいこ） 氏

コーディネーター

赤瀬（あかせ）　浩（ひろし） 氏

Nagasaki Dejima Japan
ＲＩ加盟承認
１９９８年９月３０日

■ 国際ロータリー第２７４０地区ガバナー　上村　春甫
■ 国際ロータリー第２７４０地区第１０グループガバナー補佐　鶴田　修
■ 長崎出島ロータリークラブ　会長：前田　利孝　幹事：亀川　忠信
■ 例会日：金曜日（１２：３０）
■ 例会場：ホテルニュー長崎　Tel.０９５-８２６-８０００
■ 事務局：〒８５０-０８６２　長崎市出島町１２-２９　夢進ビル２階
Tel.０９５-８２２−９６３２　Fax.０９５−８２６−４７５６
■ 創　立：１９９８.９.４　■ ＲＩ加盟認証：１９９８.９.３０
会報委員会：阿字野 仁、山口 孝司、池田 久美子、廣高 信彦、堤 祐敬、有馬 裕幸
dejimaro@lime.ocn.ne.jp　http://dejimaro.jp/
dejimaro.jp